

評価項目	評価指標	具体的方策 (改善策)	評価基準				中間評価	
			4	3	2	1	評価	
確かな学力を身に付けた児童の育成	○12月の標準学力調査（CRT）の基礎問題通過率60%未満を0に近付ける。	○条件に合わせて書く活動を通して、表現する力を高める授業づくり（振り返りを中心に） ○読書活動の充実 ○基礎問題通過率60%未満の児童への個別指導の充実。 （朝・昼学習、給食前学習、放課後学習、海小タイム、家庭学習の充実）	通過率 60%未満の割合	0~5%未 満	5~10% 未 満	10~15% 未 満	15%以上	—
	○12月の標準学力調査（CRT）の活用問題で平均正答率が全国平均を上回る。		全国平均の正答率	90%以上 の教科で上 回る	80%以上 の教科で上 回る	70%以上 の教科で上 回る	60%以上 の教科で上 回る	—
気持ちの良い挨拶ができる児童の育成	○教職員に気持ちの良い挨拶ができる児童90% ○来校者に気持ちの良い挨拶ができる児童80% ○地域の人に気持ちの良い挨拶ができる児童75% ○友達に気持ちの良い挨拶ができる児童70%委員会活動の取組に積極的に協力、参加したとする生徒を80%以上にする	○挨拶広げ隊の発展（挨拶運動、啓発、推進会議） ○登校班の育成（登校班長指導、登校班表彰） ○表彰（ファーストベンギン賞） （常時、挨拶のきっかけになっている児童の表彰） ○振り返りの充実（自己評価、挨拶の意義の確認）	児童の評価を踏まえた教師による見取り	80%以上	75%以上	70%以上	70%未満	2
人や時間を大切にすることができる児童の育成	○次の授業の準備をしてから休憩することができる児童95%以上	○意識の向上、持続（次の授業の準備をすることの意義の説明、全校指導、学級指導等による啓発、評価） ○教員の意識徹底（休憩時間の確保、授業終了時刻の厳守） ○振り返りの充実（自己評価、次の授業の準備をすることの意義の確認）	教師による見取り	95%以上	90%以上	85%以上	85%未満	1
進んで運動し体力を高める児童の育成	○縄跳びの自己目標を達成することができた児童80%以上	○体育の授業の始めに縄跳びを中心としたサーキット運動に取り組む。 ○外遊びでの縄跳びの奨励（大休憩、学級タイム、ロング昼休憩等に強化週間を設ける。） ○縄跳びなどの運動の良さを紹介（体育朝会等）	縄跳び自己目標達成カードを用いた評価	90%以上	80%以上	70%以上	70%未満	1
元気に学校へ来ることができる児童の育成	○大休憩後、給食前に手洗いをする児童の割合を100%に近付ける。 ○早寝早起きができる児童の割合を80%以上	○手洗いの奨励、強化週間の手洗いかレンダー実施。 ○早寝早起きの取組 学級活動や保健の授業、生活リズムカレンダーの取組、児童朝会での保健委員会による啓発等	手洗いをすることが習慣になっている児童80%以上 生活リズムカレンダーの早寝早起きの項目においてA評価の児童80%以上	90%以上	80%以上	70%以上	70%未満	3
業務改善	○時間外勤務45時間以内の職員の割合を50%以上	○水曜日は原則定時退校。 ○分掌で出た意見を基に改善に向けて整備を進める。 ○企画委員会や部会の時間を使って並行作業を行う。 ○学期末に評価に関する事務を行う日を設定する。	入退校時刻記録を基にした時間外勤務45時間以内の職員の割合を50%以上	80%以上	50%以上	30%以上	30%未満	3